



鳴鹿小学校

校長室だより

第3号 令和5年5月30日(火)



令和5年度が始まって、早くも2ヶ月が経ちました。授業はもちろん、校外学習、なるかっ子タイムのマラソン、縦割りでの掃除、委員会活動などを通して、1年生から6年生まで一人一人が日々成長しているのを感じます。

なるかっ子は **<すすんで学ぶ子 思いやりのある子 たくましい子>** を目指します。

入学祝い品をいただきました

入学祝い品として、鳴鹿地区区長会から「熊鈴（mont-bell 製）」をいただきました。1年生代表として、小林丈流さんと向田光季さんが受け取りました。



学校ボランティアの活動が始まりました

この度、学校ボランティアを募集したところ、9名の方にご登録いただきました。ありがとうございます。5月16日(火)には「読み聞かせ」のご協力をいただきました。本校のスクールプランには、読書活動の充実を掲げており、読み聞かせは子どもたちが楽しみにしている活動の一つです。

今後も図書館整備、校外学習や学校行事などの安全指導、授業のサポートなど、多くの活動でお世話になります。

1年間、よろしくお願いいたします。



ジャパンオープンディスクゴルフ 2023

新聞等でも大々的に報道された、「ワールドマスターズゲームズ関西 ジャパンオープンディスクゴルフ 2023」学校応援観戦に、3・4年生が参加しました。5月17日（水）、フクイカントリークラブで行われた本大会は、日本国内で唯一開催されるディスクゴルフの国際大会で、世界各国から多くの選手が参加します。子どもたちにとっては、世界各国のトップアスリートの競技を間近に観戦することができる、またとない貴重な体験となりました。

ゴルフ場に初めて訪れた子どもたちは、まず、身近な山の中に、大きく開けた、きれいな芝生敷きの空間があることに驚いていました。

案内役の係員の引率で観戦場所へ移動し、ゲーム内容の説明や応援方法を聞きました。ディスクゴルフ競技は、人間が投げる競技の中では最も長い距離を出す競技で、その最高記録は約300mにもなるとのことに驚きでした。

子どもたちは選手が最も集中するスタート地点での応援となるので、投げる前には静かにすること、投げた後は大きな声で応援することなどの注意を受けました。そして、日本語、英語、中国語の3か国語の応援の仕方を学びました。

日本語…頑張るって 英語…Good luck 中国語…加油（ジャヨウ）

第1投後、次の投球場所に向かう選手に声をかけたり、ハイタッチしたりして、国際交流の場にもなりました。中には学校にディスクをプレゼントしてくれる選手もいて、直接受け取った子どもは感動していました。3枚いただいたので、3・4年教室と校長室に1枚ずつ飾っています。



5年生の田植え体験

5月23日、5年生が田植えを行いました。今年はもち米の苗を植えました。鳴鹿コミュニティセンターの辰川センター長さん、JAの指導員の方、地域の方のご協力を得て、学校田を使って行いました。木杵を転がして目印をつけ、裸足で入って手で植える体験は、田んぼを見慣れた子ども達にも、とても新鮮なものです。こういう体験を通して、働くことの苦労や大切さを学び、食べ物への感謝や収穫の喜びの気持ちを育てていけるのだと考えています。秋には収穫したもち米での餅つきを予定しています。

